



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 長瀬産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 8012 URL <https://www.nagase.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 研二

問合せ先責任者 (役職名) 経理部本部長 (氏名) 高見 輝

TEL 03- 3665- 3103

四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	593,564	10.5	20,319	74.2	22,119	73.6	14,637	65.3
29年3月期第3四半期	537,090	5.2	11,661	21.3	12,738	17.2	8,853	7.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 27,104百万円 (39.5%) 29年3月期第3四半期 19,426百万円 (131.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	116.06	
29年3月期第3四半期	69.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	594,568	317,093	52.5	2,473.31
29年3月期	530,775	295,198	54.7	2,301.10

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 311,914百万円 29年3月期 290,217百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		16.00		17.00	33.00
30年3月期		17.00			
30年3月期(予想)				18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	771,000	6.7	23,500	56.3	25,500	55.8	16,000	54.9	126.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) INKRON LIMITED 、 除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	127,408,285 株	29年3月期	127,408,285 株
----------	---------------	--------	---------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	1,295,818 株	29年3月期	1,287,366 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	126,116,626 株	29年3月期3Q	126,667,603 株
----------	---------------	----------	---------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
3. 補足情報	9
(1) 海外売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績全般の概況

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益が改善したほか、雇用・所得環境の改善を背景として個人消費が緩やかに回復したこと等により、回復基調を維持しました。また、世界経済においても、中国および新興国経済が堅調に推移したほか、米国における緩やかな景気拡大が持続したこと等により、全体として緩やかな回復基調を維持しました。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間の業績は、国内販売は2,970億6千万円（前年同期比+8.1%）、海外販売は前年同期と比較して円安が進行した影響等により2,965億円（同+13.0%）となった結果、売上高は第3四半期連結累計期間における過去最高を更新し、5,935億6千万円（同+10.5%）となりました。

利益面につきましては、増収に伴い、売上総利益は779億円（同+14.2%）となりました。営業利益は、数理計算上の差異の償却に伴う退職給付費用が減少したこと等により203億1千万円（同+74.2%）、経常利益は221億1千万円（同+73.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は146億3千万円（同+65.3%）となり、各利益とも第3四半期連結累計期間における過去最高を更新しました。

② セグメント別の概況

機能素材

機能素材につきましては、国内および海外ともに売上は増加しました。

機能化学品事業は、国内外における自動車生産台数の堅調な推移により、塗料原料およびウレタン原料の売上が増加したことに加え、米国でのディストリビューターの買収による売上の増加があったことから、事業全体として売上は大幅に増加しました。

スペシャリティケミカル事業は、国内では半導体関連等の電子業界向けを中心としてフッ素ケミカル、エレクトロニクスケミカル、加工油剤原料の売上が増加し、海外ではエレクトロニクスケミカル等の売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

この結果、売上高は1,302億1千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、165億5千万円（+14.6%）の増収となりました。営業利益は39億5千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、9億8千万円（+33.3%）の増益となりました。

加工材料

加工材料につきましては、国内および海外ともに売上は増加しました。

カラー&プロセッシング事業は、国内において工業用および包装材料用の合成樹脂、顔料・添加剤や情報印刷関連材料等の売上が増加し、海外においても印刷関連ビジネスの売上が好調に推移したことから、事業全体として売上は増加しました。

OA・ゲーム機器業界への合成樹脂の販売を中心とするポリマーグローバルアカウント事業は、国内、グレートチャイナおよびアセアンにおいて売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

この結果、売上高は2,012億1千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、198億6千万円（+11.0%）の増収となりました。営業利益は55億8千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、15億5千万円（+38.7%）の増益となりました。

電子

電子につきましては、国内および海外ともに売上は増加しました。

電子化学品事業は、フォトリソ材料や装置関連の売上が増加し、電機・電子業界向け等の変性エポキシ樹脂関連の売上も堅調に推移したことから、事業全体として売上は大幅に増加しました。

電子資材事業は、スマートフォンのモデルチェンジにより加工部材の売上が減少したため、事業全体として売上は減少しました。

この結果、売上高は1,007億3千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、44億6千万円（+4.6%）の増収となりました。営業利益は72億8千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、26億1千万円（+55.9%）の増益となりました。

自動車・エネルギー

自動車材料事業は、国内、グレートチャイナおよびアセアンにおいて樹脂ビジネスが好調に推移したこと等により、事業全体として売上は増加しました。

この結果、売上高は964億7千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、139億3千万円（+16.9%）の増収となりました。営業利益は21億2千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、11億6千万円（+121.1%）の増益となりました。

生活関連

生活関連につきましては、国内での売上は横ばいとなったものの、海外での売上が増加したことから、全体として売上は微増となりました。

ライフ&ヘルスケア製品事業は、食品素材分野において、トレハ[®]等の売上は国内では横ばいとなったものの、欧州を中心とする海外では増加しました。スキンケア・トイレタリー分野において、AA2G[®]の海外での主要顧客に対する売上は減少したものの、国内での主要顧客に対する売上は増加しました。医療・医薬分野では、医薬品原料・中間体および医用材料の売上は横ばいでしたが、製剤事業の売上が減少しました。この結果、事業全体として売上は増加しました。

化粧品・健康食品の販売を行うビューティケア製品事業は、全般的に販売が低調であったことから、事業全体として売上は減少しました。

この結果、売上高は644億8千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、16億8千万円（+2.7%）の増収となりました。営業利益は35億6千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、7億2千万円（+25.4%）の増益となりました。

その他

特記すべき事項はありません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、売掛金やたな卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ、465億円増加の3,677億2千万円となりました。固定資産は、保有株式の時価上昇による投資有価証券の増加やのれんの計上等により、前連結会計年度末に比べ、172億8千万円増加の2,268億4千万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ、637億9千万円増加の5,945億6千万円となりました。

負債は、社債の償還による減少があったものの、買掛金や借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ、418億9千万円増加の2,774億7千万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益146億3千万円を計上したほか、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ、218億9千万円増加の3,170億9千万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の54.7%から2.2ポイント減少し、52.5%となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

平成29年11月2日に公表いたしました通期連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,830	45,771
受取手形及び売掛金	206,846	238,277
商品及び製品	58,162	66,733
仕掛品	1,309	2,040
原材料及び貯蔵品	3,648	4,364
繰延税金資産	2,375	2,271
その他	9,681	8,939
貸倒引当金	△638	△679
流動資産合計	321,215	367,721
固定資産		
有形固定資産	67,619	69,525
無形固定資産		
のれん	23,034	26,535
技術資産	13,791	12,609
その他	3,916	3,392
無形固定資産合計	40,742	42,537
投資その他の資産		
投資有価証券	94,548	108,427
長期貸付金	482	133
繰延税金資産	1,524	1,389
その他	4,931	5,084
貸倒引当金	△289	△250
投資その他の資産合計	101,197	114,784
固定資産合計	209,559	226,847
資産合計	530,775	594,568

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	102,076	123,650
短期借入金	28,162	36,098
1年内返済予定の長期借入金	3,522	774
コマーシャル・ペーパー	-	10,000
1年内償還予定の社債	10,000	-
未払法人税等	1,849	1,839
繰延税金負債	37	42
賞与引当金	4,512	3,114
役員賞与引当金	171	171
その他	16,161	18,775
流動負債合計	166,494	194,466
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	20,078	28,600
繰延税金負債	13,503	18,929
退職給付に係る負債	14,625	14,606
その他	874	872
固定負債合計	69,082	83,008
負債合計	235,576	277,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	11,590	11,174
利益剰余金	219,721	230,063
自己株式	△1,337	△1,353
株主資本合計	239,674	249,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,683	57,025
繰延ヘッジ損益	4	△3
為替換算調整勘定	3,129	5,420
退職給付に係る調整累計額	△274	△111
その他の包括利益累計額合計	50,542	62,331
非支配株主持分	4,981	5,178
純資産合計	295,198	317,093
負債純資産合計	530,775	594,568

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	537,090	593,564
売上原価	468,869	515,654
売上総利益	68,220	77,909
販売費及び一般管理費	56,559	57,590
営業利益	11,661	20,319
営業外収益		
受取利息	142	152
受取配当金	1,442	1,479
受取賃貸料	228	203
持分法による投資利益	-	690
為替差益	-	114
その他	458	311
営業外収益合計	2,272	2,951
営業外費用		
支払利息	767	900
持分法による投資損失	27	-
為替差損	44	-
その他	355	250
営業外費用合計	1,195	1,151
経常利益	12,738	22,119
特別利益		
固定資産売却益	226	28
投資有価証券売却益	495	8
負ののれん発生益	-	229
その他	76	-
特別利益合計	798	267
特別損失		
固定資産売却損	40	24
固定資産廃棄損	169	66
減損損失	52	259
投資有価証券売却損	25	-
投資有価証券評価損	92	3
関係会社株式売却損	291	0
事業撤退損	-	457
段階取得に係る差損	-	294
その他	60	-
特別損失合計	731	1,105
税金等調整前四半期純利益	12,804	21,280
法人税、住民税及び事業税	3,168	4,748
法人税等調整額	551	1,588
法人税等合計	3,720	6,336
四半期純利益	9,084	14,944
非支配株主に帰属する四半期純利益	230	307
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,853	14,637

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	9,084	14,944
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,865	9,333
繰延ヘッジ損益	15	△8
為替換算調整勘定	△12	2,494
退職給付に係る調整額	1,613	162
持分法適用会社に対する持分相当額	△140	177
その他の包括利益合計	10,342	12,160
四半期包括利益	19,426	27,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,279	26,531
非支配株主に係る四半期包括利益	146	572

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	機能素材	加工材料	電子	自動車・ エネルギー	生活関連	計					
売上高											
外部顧客への 売上高	113,665	181,345	96,271	82,542	62,793	536,619	471	537,090	-	-	537,090
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,379	1,793	1,314	1,965	364	6,817	4,157	10,974	-	△10,974	-
計	115,045	183,138	97,586	84,508	63,158	543,437	4,628	548,065	-	△10,974	537,090
セグメント利益又 は損失(△)	2,965	4,029	4,672	960	2,843	15,470	138	15,608	△4,341	395	11,661

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。

2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメントおよび「その他」に配分していない費用であります。

3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	機能素材	加工材料	電子	自動車・ エネルギー	生活関連	計					
売上高											
外部顧客への 売上高	130,217	201,210	100,732	96,479	64,481	593,121	442	593,564	-	-	593,564
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,819	1,698	1,557	2,094	360	7,530	3,512	11,043	-	△11,043	-
計	132,037	202,909	102,289	98,573	64,842	600,652	3,954	604,607	-	△11,043	593,564
セグメント利益又 は損失(△)	3,951	5,587	7,283	2,122	3,566	22,510	255	22,766	△2,775	328	20,319

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。

2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメントおよび「その他」に配分していない費用であります。

3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、INKRON LIMITED(特定子会社)の株式を取得したことに伴い、同社の子会社であるInkron OyおよびInkron Technologies GmbHを含む計3社を連結の範囲に含めております。

3. 補足情報

(1) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

	グレーター チャイナ	アセアン	米州	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	146,130	74,886	21,584	8,385	11,416	262,403
II 連結売上高(百万円)						537,090
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	27.2	14.0	4.0	1.6	2.1	48.9

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

	グレーター チャイナ	アセアン	米州	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	160,727	81,901	26,820	10,967	16,086	296,503
II 連結売上高(百万円)						593,564
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	27.2	13.8	4.5	1.8	2.7	50.0

- (注) 1. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。
 2. 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国または地域
 (1) グレーターチャイナ・・・中国、香港、台湾
 (2) アセアン・・・・・・・・タイ、シンガポール
 (3) 米州・・・・・・・・米国、メキシコ
 (4) 欧州・・・・・・・・ドイツ
 (5) その他・・・・・・・・韓国